

令和 6 年度第 1 回藤島地域振興会議での質問事項について

●委員（質問 1）

- ・ 支援物資や備蓄倉庫、他の避難所からの防災備品の運搬体制も確保しているところがある。運搬体制はどのようなものか？
- ・ 県トラック協会では災害支援協定を結んでいると思うが、鶴岡市でもトラック協会と協定を結ばせてもらえれば、我々もすぐに動ける体制をとれると思う。

■藤島庁舎総務企画課長（回答 1）

- ・ 資材庫等から避難所への防災資機材の運搬については、災害の規模に合わせて庁舎内で体制を検討している。
- ・ トラック協会へ運搬の依頼が必要なケースは、大規模災害時の支援物資等の配送と想定され、この場合は全市的な対応となるので、課題を整理した上で、検討させていただきたい。

●委員（質問 2）

一人暮らしの高齢者（要介護認定）の方が避難してきたが、対応に不安がある。市防災計画の避難所運営の中にもあるとおり、保健師の巡回や相談窓口の体制を迅速に取ってほしい。

■藤島庁舎市民福祉課長（回答 2）

- ・ 要支援者に対する対応については、現在本所関係課においてフローチャートを作成中。確定後、指定職員及び避難所担当職員へ周知される予定。
- ・ 配慮が必要な方や体調不良の方が避難してきた場合は、避難所担当職員または指定職員がフローチャートに基づいて要配慮者避難スペースへ案内する。
- ・ 保健師は、要配慮者スペースにいる方を保健福祉的視点で判断する。
- ・ 個別避難計画を出されている方でない場合は、個別のききとりの対応が必要になる。

●委員（質問 3）

移動系の防災行政無線は、庁舎と各避難所のやり取りだけでしか使えない。渡前地区での防災体制で考えると、各町内会の被害状況については、避難所=活動センターに、町内会長から情報が入る形でお願いしているが、避難所の電話回線が使えない状態では、庁舎の職員が活動センターにいても被害状況の把握ができない形になってしまう。避難所の電話回線は光ケーブルで、災害に弱い回線しか確保されて

いないが、業者の話では災害にも強い、アナログで接続して電話回線につなげる設備を残している施設もあると聞いた。災害時にアナログで対応できる回線の整備、あるいは各町内会と活動センターがやりとりできる防災無線が整備されれば、各町内会の被害状況等も把握できると考えるがいかがか。

■藤島庁舎総務企画課長（回答3）

・各町内会の被害状況把握などの災害時の情報伝達について、固定電話以外にも携帯電話や SNS 等の活用も想定されるので、様々な情報伝達方法について防災安全課と検討し、活動センターとも早期に対応案を共有していきたい。

●委員（質問4）

・自治振興会によっては、宝くじ助成等を活用して無線等の整備も行っていると聞いた。渡前でも要望を出しているが、そういった要望を強く宝くじ助成の方に働きかけて考えていただければ大変ありがたいと思う。

■藤島庁舎総務企画課長（回答4）

・宝くじ助成の申請から採択までについて、市が関与できる余地はないので、ご理解をいただきたい。

●委員（質問5）

洪水や大雨になると、東栄地区、三和地区、それから藤島川の方の柳久瀬地区、長沼温泉地区、この四つが必ず最初に報道される。40年以上前から同じような状況、いつまでこの状態で放置されるのか。何とか改善して欲しい。

■藤島庁舎産業建設課長（回答5）

・京田川の京田橋上流部分の県河川整備は令和7年3月に完成し終了。しかしながら令和6年7月の大雨時に越水等による三和～鷺畑地内で浸水被害が発生した。
・京田川の河川整備促進のため、市重要事業要望において今年度から新規要望として、近年の気候変動に対応できる河川改修や河川堤防の嵩上げなど要望。
・藤島地域の国道や県道の道路改良等に関して要望活動を実施している期成同盟会において、河川改修も要望する体制に移行するため、名称の変更や規約の一部改正を行った。令和7年3月17日付けで京田川、藤島川の河川改修や支障木撤去、浚渫に関する要望書を提出した。
・今後、最上川流域治水プロジェクト、特定都市河川整備事業の早期実現に向け、国や県への協力など連携して取り組む。

●委員（質問6）

中町には庄内農業高校の頑丈な建物がある。町内会自主防災組織の研修会の中で、万が一のとき庄農に避難できないかという質問があった。基本的には市の施設に避難するが、避難せざるをえない場合、県の施設を利用させてもらうことを事前に考えておかないと駄目だと思う。最近の災害は想定以上の規模で来るので、今後、県の施設の避難所についてどう考えていくのか。

■藤島庁舎総務企画課長（回答6）

・庄内農業高校については、断層上や河川の近くに立地していることから、避難先としては、適当でないと考えている。なお、庄内農業高校からは、高校が開いている時間帯で自主的に避難してこられた方々を受入れることは可能であると回答いただいている。"

●委員（質問7）

災害で東堀越の農道の法面が崩れて大豆の収穫に行けない状況。その水利は土の水利で、復旧しても大雨になればまた崩れると思う。U字溝の設置や、農地の侵入口の補強ができないか、また、制度や助成があれば教えていただきたい。

■藤島庁舎産業建設課長（回答7）

- ・当初、耕作者と現地で打ち合わせをした際、当該箇所は農道及び水路のため市で復旧し負担金を徴するとしたが、現地を調査したところ、当該箇所は農業者個人で農地を整備したときに道路と水路を造成したものと確認できた。
- ・個人管理の道路水路のため農業者が復旧し農業施設災害補助で対応したいと説明した。なお、北側水路及び田の公共災工事を施行する際、重機の移動に当該農道を使用するため、応急的な復旧は市で行う予定としている。
- ・U字溝の設置や、農地の侵入口の補強については、多面的支払交付金等の活用を検討していただきたい。

●委員（質問8）

学校教育あるいは施設のモデルとして、藤島に小中一貫校ができることはチャンスであり、これが藤島の新たな魅力に繋がり、あるいは若い人たちが藤島に住んでみたいという一つのきっかけになるのではないかと考えている。今後の取り組みについて、庁舎並びに市の考え方は？

■藤島庁舎総務企画課長（回答8）

- ・義務教育学校については、設立準備委員会を設置し、教育課程等の検討を進めます。また、新校舎建設に向けて、敷地測量等を行います。
- ・文厚エリア内公共施設(藤島児童館、図書館藤島分館など)については、地域振興

懇談会のほか施設利用団体等の関係者から幅広く意見をいただきながら、小中学校整備検討委員会の附帯意見(5)周辺諸施設との一体的な整備について関係部署で連携をとりつつ、学校整備計画にも整合するよう検討を進めていきます。

●委員（質問9）

子どもの居場所について、図書館（東田川文化記念館）が入りづらくなっている感覚があるので、別に作っていただけたら良いと思う。

■藤島庁舎市民福祉課長（回答9：こどもの居場所）

- ・ 現在、本所所管課である子育て推進課において、市全体の遊び場整備方針の策定に向け取組みをしている。（パブリックコメント：R7.2.13 から 3.5 まで）
- ・ 市全体の遊び場方針に従いながら、藤島地域のこどもの居場所をどのように整備していくかについて、地域のニーズやご意見を踏まえながら、文厚エリア整備に含めて検討していく。

■藤島庁舎総務企画課長（回答9：図書館藤島分館）

- ・ 現在、主管課の教育委員会において「新図書館整備事業基本構想」の策定を進めている。（構想案の意見公募：R7.2.19 から 3.12 まで）
- ・ 構想案では「新図書館の理念と方針を踏まえ、分館でも利便性を高めていくことを検討する」としている。
- ・ 今後、文厚エリア内での検討で、図書館藤島分館の将来像についても議論を進めていきたい。

●委員（質問10）

（栄と渡前の多目的施設）資料に文厚エリアの検討事業があるが、市長が公約で掲げた旧渡前中学校の体育館のせめて名前ぐらいはここに挙げておかないと、検討の余地も無く、その他に入ってしまうのではないか。

■藤島庁舎総務企画課長（回答10）

- ・ 令和6年11月に藤島地域の3小学校と藤島中学校が統合し義務教育学校を整備する地域合意が示された。附帯意見(6)の学校施設整備等については、東栄・渡前小学校の閉校舎・土地の活用や地域づくりと合わせて、関連施設の地域活動センター等についても検討します。

●委員（質問11）

以前、藤島町には、資格取得や安全大会に講師を呼ぶ費用の助成で、1社上限20万のスキルアップ資金があり、うちの会社でも1級技能士や2級建築士の資格を

取らせることができた。「がんばる企業応援資金」は、資格取得などに使えるか。

■藤島庁舎産業建設課長（回答 11）

- ・ R6.9.12（木）出羽商工会藤島支所にて、資格取得の支援についての予算要求に向けての情報交換。⇒アンケートの実施
- ・ R6.10 地域まちづくり未来事業（藤島）として予算要求
- ・ R6.10.24（木）本所商工課と打ち合わせをし、商工課で予算要求の検討を行うこととした。
- ・ R6.11.11（月）検討の結果、国に同様の支援があるため予算要求は見送りとした。

●委員（質問 12）

（藤島中学校グラウンドの照明）野球部などは、秋になると保護者がライトをつけてグラウンドを照らして練習している状況である。

■藤島庁舎総務企画課長（回答 12）

- ・（仮称）学校設立準備委員会や文厚エリアの検討において、現在の利用状況や今後の需要を調査しながら検討を進めていきたい。